

## 式 辞

桜の花が咲き若葉が萌える春、新しい命が芽吹き心躍動する春がめぐってまいりました。

この春の佳き日に、埼玉県立南校高等学校第四十一回入学式を挙げていきますことは、本校関係者一同大きな喜びでございます。

ただ今、入学を許可いたしました三六〇名の新生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。一緒に充実した高校生活を築いていきましよう。

また、保護者の皆様方におかれましても、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日はご出席いただけませんでした。心からお喜び申し上げます。お子様が大人へと成長する手助けを、精一杯努めさせていただきます。

新入生の皆さん、本日の入学式は例年になく異例な形となりました。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を踏まえ、感染拡大防止の観点からこのような形になっています。我々にとって、感染症の流行という状況は、経験もなく、他人事のようにも思えます。しかし、ウイルスは広がっているのではなく、人が広がっているのです。我々一人一人が当事者であるという意識を持って、これ以上の拡散を阻止しなくてはなりません。もう暫くの間、不自由な生活を強いることになりますが、社会の一員としての自覚を持って行動していただきたいと思えます。このピンチは、皆さんが主体的な態度を育成するチャンスでもあります。

さて、皆さんが三年間を過ごす南校高校は、知性を高め、豊かな情操を培い、たくましい体力と気力を養い、二十世紀の国際社会を、自信と誇りをもって生きる若人を育成することを目標としています。本日は、そのために皆さんに高校三年間で身につけて欲しい三つの力についてお話ししたいと思います。

一つ目の力は、自分を活かす力です。皆さんには自分でも気付いていない潜在能力が溢れています。それを活かすためには、良い習慣を身につけなければなりません。あいさつや笑顔を絶やさない習慣、時間やルールを守る習慣、勉強する習慣など、良い習慣をどれだけ身につけるかが、その能力を開放する基礎となります。その基礎の上に、自分の良さを活かして、目標を決めていくって欲しいと考えています。

あいさつや笑顔を絶やさない習慣を身に付けるため、我々教職員も笑顔のあいさつを欠かしません。笑顔のあいさつには笑顔のあいさつをもつて応えてください。

また、時間やルールを守る習慣を身につけてもらうため、時には厳しい指導もしていきます。遅刻しないことや服装・頭髪、スマートフォンに関する学校のルールを守るということは、自分をコントロールするということです。自分をコントロールできない人は、自分を活かすことはできません。是非、自分をコントロールできる人間になって欲しいと思います。

もう一つの勉強する習慣ですが、皆さんの中に眠っている能力を引き出すには、努力が必要で、す。「できない」という思いこみや、「やりたくない」という怠け心と戦い、自分の能力を引きずり出さなくてはなりません。高校生活では「勉強は団体戦で頑張り」ということも必要です。「団体戦」とは「学び合い、励まし合い、支え合い」を合い言葉に、お互いに勉強しやすい環境、雰囲気などを暗黙のうちに作りあげていくことです。

例えば、予習、復習をきちんとやって授業を盛り上げる、授業中の居眠り、私語などを生徒同士で互いに注意する、時にはライバル同士になって切磋琢磨することも「団体戦」の一つとなります。新入生の皆さんは、この「団体戦」の下に、思い切り勉強をしていただきたいと思います。

二つ目の力は、今やるべきことを見抜く力です。今やるべきことを見抜くには、今しかできない

いことは何か、と考えることです。例えば、アルバイト、家計の手助けをしなければならぬ人は仕方ありませんが、社会に出れば嫌でも働かなければなりません。高校時代にかたがたできない、勉強や学校行事、部活動の方が、アルバイトより大切です。

今やるべきことを見抜くというのは、物事の優先順位を間違わないということですし、一番大事なものや大事にすることができるといってもあります。皆さんはどんな未来を夢見て、何を大事にしているかと思っていますか。高校時代に自分の一番大事なものは何か、よく考えて見つける努力を惜しまないでください。高校はどこへ行つたかより、そこで何をしたかが大切です。

三つ目の力は、今を楽しむ力です。本校では、オリーブフェスティバルといわれる体育祭や文化祭、ロードレースや修学旅行など、様々な行事があります。また、国際理解教育の一環として、オーストラリア研修や外国語科のイングリッシュキャンプなどが用意されています。それらを活用して、その時その時を一杯楽しめる人になってください。楽しさや幸せは自分で掴むもので、待つていても誰も与えてはくれません。自分から体を動かして、楽しさを掴み取る力を養ってください。

自分を活かす力、今やるべきことを見抜く力、今を楽しむ力、この三つの力を是非、身につけて、有意義な高校生活を送っていただきたいと思っています。勉強するときは大いに勉強し、楽しむときは大いに楽しみましょう。私たち教職員も、時には厳しく、時には優しく、皆さんとともに成長してまいりたいと思います。

次に、保護者の皆様に、お子様より一つ多い四つのお願いがあります。改正民法が施行され、お子様は十八歳を迎える高校三年生の時に成人となります。自らの判断力で様々な困難を乗り越えていかなくはなりません。とは言え、そこに行きつくまでの三年間には、まだまだ保護者の皆様のご協力が必要です。

遅刻をしないように登校させて欲しいというお願い、アルバイトについては、ご家庭でよく話し合っ学校に申し出て欲しいというお願い、朝昼晩の三度の食事をしっかりと摂らせて欲しいというお願い、できるだけ、お子様の良いところを褒めてあげて欲しいというお願い、この四つをお願いです。是非、よろしくお願いいたします。

また、保護者の皆様には、機会あるごとに来校して、本校の教育活動に対する評価をいただきたいと存じます。保護者の皆様の率直な感想が本校としての評価でもあり、その評価を地域の方々に広報していただくことは、本校としても、一番のPRとなります。保護者の皆様には、今後とも、本校の教育活動に対してご理解・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、保護者の皆様に、重ねて入学のお喜びを申し上げます。この十五年間、様々なご苦労があつたと思います。本日、大切なお子様方を確かにお預かりいたしました。責任をもつて育て、お子様の力をしっかりと伸ばしてまいります。

本校の教職員は、豊かな経験を持ち、各教科における高い専門性、深い学識と卓越した指導力を備えています。本校のすべての教職員が力を結集して、お子様の教育に使命感と情熱を傾けて、一人一人を大人へと成長させるとともに、進路希望を実現させることに全力を投入いたします。どうか本校を信頼し、安心してお預けください。

三年後の卒業式の際、ここにいるすべての新入生と保護者の皆様が「南校高校に入学して本当に良かった」と思えることを心から願っています。

令和二年四月八日

埼玉県立南校高等学校長 山本 健敬